

博士課程教育リーディングプログラム 平成26年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成25年度		
申請大学名	東京大学	申請大学長名	濱田純一
申請類型	複合領域型（多文化共生社会）	プログラム責任者名	長谷川壽一
整理番号	S01	プログラムコーディネーター名	内野儀
プログラム名	多文化共生・統合人間学プログラム		

＜プログラム進捗状況概要＞

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本学位プログラムの目的は、学際的・複合領域的な5年一貫の博士課程教育プログラムを実施することで、多文化共生社会の実現に取り組む次世代トップリーダーを養成することである。本学位プログラムは、多文化共生の理念へのチャレンジを先導する人材に必要な学知を、専門性を備えたうえでのさらに広い視座を持ち、新たな価値の創造を可能とする新しい教養と定め、「統合人間学」と特徴づける。本事業は社会に統合的人間学を修めた優秀な人材を輩出すると同時に、多文化共生社会の実現には「教養」が必要であると広く社会に向けて提言する。こうした本学位プログラムの目的は、東京大学の中期的ビジョンを示す「東京大学行動シナリオ：FOREST 2015」における「真の教養を備えたタフな学生」の理念に合致している。本プログラムの直接的なアウトプットは多文化共生社会の実現を目指す次世代トップリーダーを輩出することであるが、アウトカムとして、人文科学・社会科学・自然科学の新たな大学院教育の理念としての統合人間学を社会に提示することが挙げられる。

2. プログラムの進捗状況

多文化共生社会の実現に取り組む次世代トップリーダーを養成するため、平成26年度は本プログラムの本格的な運用を開始した。教育プロジェクト「生命のかたち」「共生のプラクシス」「科学技術と共生社会」「Producing Multicultural Communities」「多文化共生と想像力」、および修士課程1年を17名（うち秋入学2名）、博士課程1年を15名（うち秋入学2名）の学生を受け入れそれぞれの地域、テーマに関する11の教育ユニットを整備し、講義科目、演習科目、実習科目による教育コースを本プログラム生に提供した。上記教育コースを運営するために特任教員を雇用した。また、教育研究アドミニストレーターを雇用し、プログラムの総合的推進とキャリアパスに応じたプログラム生へのサポートを充実させた。さらに、プログラム電子カルテシステムを整備し、それを使用したQEを実施した。また、6回の新入プログラム生のための説明会、広報を目的とした研究会・シンポジウム等を30数回開催し、本プログラムの社会的受容とともにプログラム生教育の充実を図った。